

こんにちは!!
市長です

Vol.36

「共生社会」

10月は、「共生社会実現のまち
渋川市」の推進月間でした。
互いに支え合い、誰もが自分
らしく輝ける地域づくりを指
指して、さまざまな活動を展
開しています。共生社会実現
の理念に賛同してくれた自治



▶10月21日の共同宣言署名式

会連合会など多くの団体、企
業の皆さんと共同宣言に署名
をし、皆でこの運動の輪を広
げていきたいと思えます。

共生社会の実現には、まち
のバリアフリーを進めること
はもちろんですが、心のバリ
アフリーが大事です。先日、
障害者自身が講師となつて進
める障害平等研修（DET研
修）に、市の職員と共に参加し
ました。無意識に持っていた
障害に対する固定観念を取り
除くと、新しい世界が広がる
ことが分かりました。

以前に、渋川市とオリンピ
ック・パラリンピックの共生社
会ホストタウンに登録してい
るニュージールランドの駐日大
使とお会いした際、ニュージ
ーランドでは4人に1人が障
害者だと聞きました。眼鏡や
補聴器、杖が生活に必要な人
も障害者であるという意識を
国民が持っているからだそう
です。私も眼鏡が必要ですが
ら、障害を持つていることにな
ります。そして、互いをい
たわりあい、支え合つて暮ら
していると話していました。

コロナ禍の中で、差別や誹
謗・中傷が社会問題になつてい
ます。今こそ、全ての人がお
互いの人権や尊厳を大切にし、
支え合う「共生社会実現のまち
渋川市」をつくりましょう。